

# 事業実施計画書

# 事業実施計画

## 基本方針

平成24年度は、このたびの公益法人制度改革により『公益財団法人やまがた健康推進機構』として初年度を迎えます。公益財団法人として組織の透明性や公平性、情報公開や意識改革、内部統制の強化、コンプライアンス体制の整備に努めながら、今後とも広く県民の健康づくりを担う検診機関として公衆衛生の向上に寄与してまいります。

さて、本年度は、国においてがん対策基本法に基づく「がん対策推進基本計画」の見直しや壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質の向上の実現を目的として国民運動を展開している「健康日本21」の最終年度を迎えるなど、がん、生活習慣病対策にとって節目の年を迎えます。

こうしたなかで、健康推進機構は次の事業を展開しながら山形県や市町村、関係機関団体と連携して受診機会の拡大や一層の受診勧奨に努めてまいります。

検診事業では、ICカードハンディ健診システム及び当日結果処理システムを効率的に運用するなど、正確な健康診断を実施してまいります。また、引き続き、離島や僻地、過疎地検診を実施するとともに検診機関に足を運ぶことが困難な障がい者の方々に対しても検診の機会を提供してまいります。更に、受診者ニーズに合った魅力ある検診を提供できるよう検診・検査項目の充実を行います。このため人間ドック標準項目にカリウム検査を追加するほか、山形検診センターでは、胃がんリスク評価と乳房超音波検査の新たな事業に取り組み、受診者の健康保持増進に努めます。

普及啓発活動では、がん征圧月間、結核予防週間に併せて全職員参加による一斉普及啓発活動「みんなで広げよう健康の輪 2012」を開催するとともに、ピンクリボン運動への協賛やマスメディアを活用して広く県民へ健康の大切さと受診勧奨を積極的に推進してまいります。

基盤整備では、山形検診センターに胃部呼吸器併用検診車を整備するほか大型送迎バスを更新し受診者の利便性の確保に努めます。また、庄内検診センターにはデジタルマンモグラフィ撮影装置を、米沢検診センターには腹部超音波診断装置、骨密度測定装置をそれぞれ整備し一層高い精度管理に努めます。

事業運営においては、公益財団法人への移行に伴い公益法人制度改革関連3法及び平成20年公益法人会計基準に準拠して対応してまいります。

## ．普及啓発

### 1．キャンペーン、月間にあわせた広報活動

(1) 各種キャンペーン、月間イベント活動・開催

がん征圧月間・結核予防週間、がん受診率50%達成に向けた集中キャンペーン、ピンクリボン運動等にあわせ、食生活・生活習慣の見直しや検診の重要性を訴える啓発活動を行う。職員一斉の普及啓発イベントは3年目となる「みんなで広げよう！健康の輪2012」を開催し、健康セミナー開催や街頭での啓発キャンペーン等を全職員で参画し活動を行う。

- ・みんなで広げよう！健康の輪 主催（9月 山形市）
- ・やまがたピンクリボンフェスタ 共催（10月 山形市）

(2) マスメディアを利用した広報活動の実施

がん征圧月間・結核予防週間の9月を中心に、テレビ・ラジオ・新聞等を活用し、予防意識の高揚と受診勧奨の啓発を図る。

### 2．広報教育媒体の整備貸出し

(1) 健康まつり、健康催事、学校の健康教育等に広報教育媒体の無料貸出しを行い、幅広く疾病予防の啓発を図る。

- ・市町村や学校等に対し、広報媒体物（DVD や模型等）の無料貸出しを行い、健康知識や疾病予防の啓発を図る。
- ・健康情報チラシやパンフレットを、関係機関や事業所等へ広く無料配付し、健康知識や疾病予防の啓発を図る。

### 3．健康機関誌の作成、配布

(1) がん・結核の予防知識などを掲載した健康情報誌を作成し、県や市町村、婦人団体等を通して広く県民に配布する。

- ・広報誌しあわせ 年2回 各5,000部（配布他ホームページ掲載）

(2) 禁煙教育パンフレット等を、市町村・事業所・医療機関・検診受診者へ配布するほか、各種イベントで配布する。

- ・健康情報パンフレット 年20,000部

### 4．健康づくり組織活動

(1) 住民の手による住民への普及啓発を行うため、疾病予防や生活習慣の見直しなどに取組む団体を組織し、その事務局を県内5つの検診センターに設置し、各団体活動を支援する。

- ・山形まめの会  
術後者の健康管理の勉強会や普及啓発活動への支援（情報交換会や研修会等）
- ・山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会  
研修会等の開催支援や普及啓発活動への支援（各市町村単位の小ブロック研修会等）

### 5．その他の普及啓発

(1) 結核・生活習慣病に関する情報の提供、保健事業や健康管理についての学習や情報交換を行う会議・研修会を主催する。

- ・保健所、市町村健康管理担当者会議開催
- ・事業所の健康管理担当者研修会開催

(2) 講演会への医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の派遣を行う。

(3) 公益財団法人結核予防会並びに公益財団法人日本対がん協会と結核撲滅・がん征圧への連携啓発として、結核予防全国大会、がん征圧全国大会への参加や各団体発刊の機関誌・パンフレット等の配布を行う。

- ・結核予防全国大会（2月 東京都）
- ・がん征圧全国大会（9月 香川県）
- ・結核予防会複十字誌 年1,300部
- ・日本対がん協会報 年6,300部
- ・複十字シール運動（結核や肺がん、その他胸の病気をなくすために行う世界共通運動）
- ・維持会員（がん及び生活習慣病征圧のために行っている運動）

## ・各種検診の実施、二次予防の推進

医療保険者は高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度に特定健康診査等実施計画を国に提出しています。平成24年度は、当該計画に盛り込まれている最終年度となっており、以降の後期高齢者支援金の加算・減算に関しこれまでの蓄積されたデータが評価指標となるため、医療保険者はこれまでの集大成として厳格に対応してくると思われま

す。一方で、がん対策基本法に基づき、本県で策定された山形県がん対策推進計画に関しても、分野毎に掲げられた5年間の個別目標の最終年度となっております。

具体的には、国の目標である特定健康診査実施率70%、特定保健指導実施率45%、山形県がん対策推進計画にある胃・大腸・乳がん検診受診率60%以上、肺・子宮がん検診受診率50%以上、精密検査受診率100%の目標達成に向け、推進主体の一つである検診機関として関係機関と連携を図って参ります。

また、昨年度全検診センターへ導入いたしましたICカードハンディ健診及び当日結果処理システムを効率的に活用し、迅速で正確な健診を目指し、受診者サービスを向上させながら、更なる検診・検査項目の充実を図って参ります。

上述いたしましたことを踏まえ、以下のとおりの検診事業別計画人員といたします。

## 1. 検診事業

(単位：人)

項目	当初計画人数		比較増減	総計画人数		比較増減	
	平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度		
特定健康診査	51,330	53,300	1,970	51,330	53,300	1,970	
特定保健指導	2,550	2,410	140	2,550	2,410	140	
生活機能評価	2,355	5,740	3,385	2,355	5,740	3,385	
胃がん検診	55,600	57,660	2,060	104,920	105,555	635	
大腸がん検診	64,320	64,125	195	118,525	116,065	2,460	
子宮がん検診	19,420	19,900	480	38,490	39,115	625	
乳がん検診	18,545	18,115	430	36,745	36,810	65	
検診	肺がん検診	44,825	46,645	1,820	77,315	78,435	1,120
	結核検診	41,895	43,480	1,585	123,220	124,685	1,465
人間ドック	33,655	32,805	850	33,655	32,805	850	
全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診	22,980	21,630	1,350	22,980	21,630	1,350	
腹部超音波検査	30,825	30,295	530	31,555	30,920	635	
一般査	定期健康診断	73,985	74,990	1,005	73,985	74,990	1,005
	その他(延件)	463,785	453,160	10,625	463,785	453,160	10,625
学校検診(延件)	50,040	50,740	700	50,040	50,740	700	
細胞診検査(件)	10,530	10,700	170	10,530	10,700	170	
前立腺がん検診	21,050	19,155	1,895	21,050	19,155	1,895	
骨密度測定	19,100	16,185	2,915	19,100	16,185	2,915	
肝炎ウイルス検診	5,120	2,810	2,310	5,120	2,810	2,310	

総計画人数：単独検診+人間ドック+全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

車両配置

(単位：台)

区分 センター名	胃がん検診車	胃部・呼吸器 併用検診車	呼吸器検診車	子宮がん検診車	循環器検診車	循環器・超音 波併用検査車	送迎バス
山形	2	2	3	1		1	2
庄内		2			1	1	1
最上	1		1				1
米沢							
南陽	2	1	1				1
計	5	5	5	1	1	2	5

南陽検診センターの胃がん検診車1台減車

受託事務等

項目	当初計画人数		比較増減
	平成24年度	平成23年度	
受付問診等 (人)	6,089	5,238	851
結果送付 (件)	79,775	67,640	12,135
料金徴収 (件)	26,050	27,513	1,463

## 2. 事後管理

- (1)実施主体の担当者等と連携を密にし、要精密検査対象者の精検受診勧奨に努めます。
- (2)人間ドック受診当日に、医師による結果指導を要望に応じ対応いたします。
- (3)検診後の健康相談、事後指導、健康講話を実施いたします。

## ・資料収集（検診データの有効活用）

- (1)検(健)診委員会で、蓄積されたデータを集約のうえ解析、評価し今後の事業展開に役立てます。
- (2)事業年報を発行します。
- (3)山形県、市町村、地区医師会等関係機関へ必要に応じデータを提供し、地域保健医療に関わる資料として役立てていただき、県民の公衆衛生の向上に寄与して参ります。
- (4)職員が参加する学会、研修会において検診データを積極的に発表し、各分野の医学的基礎資料として有効活用いたします。
- (5)地域住民の検診データを、疾病構造毎に把握し、地域特性に見合った健康教室を開催します。